

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】

1 次の文の \_\_\_\_\_ のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの1～4の中から、それぞれ一つえらびましょう。 **レベル3**

(1) シュウ中して勉強する。

- 1 週      2 習      3 終      4 集

(2) 暗くなる前に、早くカエル。

- 1 返る      2 買える      3 帰る      4 代える

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

2 次の \_\_\_\_\_ 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方か、書きましょう。 **レベル7**

(1) 広間に集まる。

読み方

音・訓

(2) 広大な土地。

読み方

音・訓

【文の構成を理解する問題】

3 次の文の主語・述語を \_\_\_\_\_ 線部1～4の中からそれぞれえらびましょう。 **レベル7**

(1) きのう わたしは 友達と 児童館で 遊んだ。

主語

述語

(2) 水族館で 見た 魚には、青く 大きな ひれが あつた。

主語

述語

【文と文のつながり方と接続詞の働きを理解する問題】

4 次の□の中の文を、意味を変えずに、二つの文にします。

□に入る言葉を、あとの□の中からえらび、二つの文にして書きましょう。

レベル6

雨がふりそうな天気だが、かさを持っていない。



れい たくさん走ったので、足がいたかった。

たくさん走った。

だから

足が痛かった。

だから つまり しかし また

【指示語の役割を理解する問題】

5 次の文の□は、何を指していますか。文章中より書きぬきましょう。

レベル6

近所のおばさんが、水玉もよりのワンピースを作ってくれた。次の日、わたしはそれを着て、友達の家遊びに行った。

【反対の言葉を理解する問題】

6 □の言葉と反対の意味の言葉を、書きましょう。

レベル5

電車が動く。

# 復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

1 次の文を読んで、あとの問いに答えましょう。

レベル6

まゆみさんが、南町図書館の館長さんにインタビューをしています。

まゆみ 「こんにちは。わたしは、南小学校の北川まゆみです。きょうは、館長さんに図書館のことを聞きにきました。よろしくおねがいします。はじめに、ここではたらいっている人は、何人いますか。」

館長 「わたしもふくめて全員で四十人です。多くの仕事があるので、みんなで手分けをしてはたらいっています。」

まゆみ 「たくさんの方がはたらいっているんですね。ここではたらいっている人は、  
A

館長 「図書館での仕事は、本のかし出しや本の相談、図書館のそうじなどをしていきます。来てくれた子どもたちに読み聞かせもします。」

まゆみ 「いろいろな仕事があるんですね。  
この図書館には  
B

館長 「この図書館は、日本のお話や外国のお話、絵本などたくさんの本があります。とくに、子ども向けの本がたくさんそろっているので、たくさんの子どもたちに来てもらい、本を読んでほしいですね。」

まゆみ 「わたしも本を読みに来たくなりました。たくさんのことを教えていただき、ありがとうございました。」

インタビューの  と  の部分で、まゆみさんは、館長さんにどんなことを聞いていますか。  
 に当てはまるように、まゆみさんが言った言葉を考えて書きましょう。

(1) 「たくさんの人がはたらいているのですね、ここではたらいている人は、

」。

(2) 「いろいろな仕事があるのですね。この図書館には

」。

埼玉県学力学習状況調査



コハクセン

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

### 【条件に沿って書く問題】

- 1 Aさんは、国語の学習でいろいろな遊びについて調べ、そのルールについてまとめました。メモ⑦⑧⑨の中から、あなたが遊んでみたいものをえらび、〈注意〉をまもって書きましよう。

レベル7

### メモ

#### ⑦三色おにぎりゲーム

- ①まず集まった人を、「青組」「赤組」「白組」の三つに分ける。  
（色は何色でもよい。人数によつては、チームの数をふやすこともできる。）
- ②青は赤からにげ、赤は白からにげ、白は青からにげる。タツチをされたら、そのじんちに連れていかれる。
- ③決められた時間をたたかい、相手をつかまえた数をもっとも多かったチームが勝ちとなる。

#### ⑧聞き耳ゲーム

- ①四く五名のグループになり、聞き取り役を一名と言葉を言う人に分ける。
- ②言葉を言う人たちでテーマを話し合い、テーマにあった言葉をそれぞれ決める。
- （例）テーマがくだもの・言葉を言う人が四人の場合
- Aさん↓りんご、 Bさん↓バナナ、 Cさん↓パイナップル、 Dさん↓みかん
- ③合図で、言葉と言う人が決めた言葉をいつせいに言う。
- ④聞き取り役は、聞こえた言葉から、テーマを当てる。
- ⑤聞き取り役がテーマを当てたら、聞き取り役の勝ちとなる。

#### ⑨ろくむしゲーム

- ①二十メートルほどはなれた場所に二つ円をかく。
- ②二人のオニと、子（オニがい）を決める。
- ③二人のオニは、子をねらってボールを投げ合う。子はオニが投げるボールをよけながら、はなれた円の間を行き来（おうふく）する。
- ④ボールに当たらずに「おうふくしたら「いちむし」、二おうふくしたら「にむし」・・・となり、「ろくむし」まで行けば子の勝ちとなる。

- 〈注意〉
- 1 二段落で、五行以上、六行以内で書くこと。
  - 2 一段落目には、遊んでみたいと思った遊びの名前をメモ㊷①㊷の中  
からえらんで書くこと。
  - 3 二段落目には、えらんだ理由を書くこと。


6行

5行



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

## 【物語を読んで答える問題】

1 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

（※川の中の魚の子供と母親の様子がえがかれている場面です。）

花は、水の上に浮かんで、流れ流れてゆきました。しかし、後から、後から、花がこぼれ落ちてきました。

「どんなに、おいしかろう。」といって、三びきの魚の子供は、ついにその花びらをのんでしまいました。

その子供らの母親は、その翌日、我が子の姿を見て、さめざめと泣いたのです。「あれほど、花びらをたべてはいけないといったのに。」といいました。

黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので、黒い子供は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので、黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので、黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になってい

## 【中略】

（※町の人間の子供と母親の様子がえがかれている場面です。）

町では、子供たちの母親が心配いたしました。

「どうして、そう毎日川へばかりゆくのだえ。」と、子供たちをしっかりとりました。

「だって、赤い魚がいるんですもの。」と、子供は答えました。

「ああ、昔から、あの川には赤い魚がいるんですよ。しかし、それを捕らえるとよくないことがあるというから、けっして、川などへいってはいけません。」と、母親はいいました。子供たちは、母親がいったことをほんとうにしませんでした。どうかして、赤い魚を捕まえたものだど、毎日、川のふちへきてはうろついていました。

（出典 小川 未明 「赤い魚と子供」）

（1） \_\_\_\_\_ アの「それ」とは何のことですか。三字で書きぬきましょう。

レベル6

--	--	--

(2) | イの後、子供たちがどうしたのかをまとめた文の□に当てはまる言葉を文中からさがし、それぞれ四字で書きぬきましょう。**レベル6**

母親がいったことを


にはせず、赤い魚を捕つかまえるために

をうろついた。


(3) さめざめと泣いたのです。の理由として、もつともふさわしいものを次の1～4の中から一つえらびましょう。**レベル6**

- 1 子供の魚の色が、ちがう色に変わってしまったから。
- 2 赤色や白と赤の斑色の花が流れてきたから。
- 3 子供の魚が、病気になってしまったから。
- 4 三匹の子供のうち、一匹がいなくなってしまったから。

--

埼玉県初等学習支援センター



コナドク